

もり た かず なり

森田 一成

奈良市議会議員

ホームページやSNSでも
普段の活動内容を発信しています。

公式HP



ベテラン議員として市議会を調整 市民理解難しい市施策を修正

奈良市議会の森田一成は今期の市議会活動の中、市が計画していた公民館や総合福祉センターの閉鎖を「公共施設の切り捨て」と批判し、これを止めるべく30年の経験を持つベテラン議員として党派の垣根を越えた調整を行い、計画の廃止を実現しました。また市の「無理、無駄」と考えられる予算を精査し、会派間の調整を行った上で修正案を提出し市民理解が得られる形へと軌道修正してきました。私の今期の主な活動をご報告します。



公共施設の切り捨てをストップ

市は市内24カ所ある公民館を、6カ所を残して廃止し、ふれあい会館にその機能を移転しようとする計画を打ち出しました。

また障害のある方々の相談や訓練、リハビリを行う総合福祉センターも閉鎖し、市内に4つある老人福祉センターに機能を分散する計画も打ち出しました。

このような公共施設の閉鎖は、人口減少を見据えたものですが、私は、あまりに唐突で市民理解が得られるものではない「切り捨て施策」と批判。会派を越えた市議会の団結を呼び掛け、この計画を廃案にし、公共施設、市民サービスを守りました。



総合福祉センター

狭あい道路の整備を前へ

近鉄尼ヶ辻駅周辺は、道路が狭く、通勤や通学時間は、自動車、自転車、歩行者で込み合い、特に踏切周辺は危険性が指摘されていました。私はこの地元の願いを県、市に届け、拡幅工事を実現しました。

また、四条大路地区の観音庵千手院手前の道路も、通学路になっているものの歩道が狭く、危険性が指摘されていました。私はこの拡幅を市に求め、市は拡幅事業費を予算化。順次、工事に着手されています。



近鉄尼ヶ辻駅周辺



観音庵千手院手前の道路